

生活科（2年）シラバス

☆ 教科の目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養います。

☆ 第2学年の到達目標

自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、それらに愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにします。

自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにします。

身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにします。

☆ 学習の予定（全105時間）

月	学習すること
4	ともだちいっぱいなかよくしようね
5	レッツゴー！町たんけん ぐんぐんのびろ
6	げんきにそだて
7	わくわく夏やすみ
9	あそび大すきあつまれ！
10	もっとしりたいな 町のこと
11	ぐんぐんのびろ
12	もうすぐ冬休み
1	こんなすてきな 町なんだ
2	みんな大きくなったよね
3	

☆ 評価について

生活科では、次の3つの観点で評価します。

① 生活への関心・意欲・態度

「身近な人、社会、自然及び自分自身に関心を持ち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習したり、意欲的に遊びや手伝いなどをしたりしようとする。」

→授業での様子、発見カード、発表等

② 活動や体験についての思考・表現

「調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。」

→授業での様子、発見カード、発表等

③ 身近な環境や自分についての気付き

「具体的な活動や体験をしながら、学校や家庭及び地域と生活、公共物の利用、身近な自然や動植物、自分の成長などの様子に気付いている。」

→授業での様子、発見カード、発表等